

# 静岡がんセンターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

①対象者	2002年9月12日から2017年6月30日までに単発の初発肝細胞がんに対し外科的切除が行われた403例			
②研究課題名	系統的切除が有効な肝細胞がん症例の選択			
③実施予定期間	承認日 ~ 2020年12月			
④実施機関	静岡がんセンター			
⑤研究代表者	氏名	岡村行泰	所属	静岡がんセンター 肝・胆・膵外科
⑥当院の研究代表者	氏名	岡村行泰	所属	静岡がんセンター 肝・胆・膵外科
⑦使用する検体・データ	診療録			
⑧目的	肝細胞がんは、門脈を介して肝内転移を生ずるとされ、肝機能が良い場合は、肝がん診療ガイドラインでは、腫瘍に流入する門脈領域をすべて切除する系統的切除を行うことが推奨されてきました。しかし、肝内転移を有する可能性が低い症例においては、肝機能を温存するという点で門脈の走行に関わらず腫瘍を切除する非系統的切除が良いという報告もあります。 今回、肝内転移を有する危険因子を抽出し、危険因子の保有数別に系統的切除と非系統的切除の術後生存率を比較検討します。			
⑨方法	初発の単発肝細胞がん切除例を対象として、診療録より術前の患者背景、画像検査所見、血液検査結果などを後ろ向きに集積し、下記の評価を行います。 顕微鏡的脈管浸潤、肝内転移の危険因子の抽出。 リスク因子保有数別に系統的切除と非系統的切除の長期予後を比較。			
⑩倫理審査	倫理審査委員会承認日	2019年8月23日		
⑪資料の閲覧	本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料は、個人情報及び知的財産の保護等に支障のない範囲で入手・閲覧することができます。			
⑫個人情報の開示等	本研究の対象者の方は所定の手続きのうえ、自己の個人情報の開示を請求することができます。また、開示された自己の個人情報について、所定の手続きのうえ、訂正を請求することができます。さらに、自己の個人情報が不適切な取扱いをされていると思われる場合は、所定の手続きのうえ、自己の個人情報の利用の停止・消去・提供の停止を請求することができます。			
⑬問い合わせ	連絡先	臨床研究事務局	電話	055-989-3379（直通）
	事務局にて、お問い合わせ内容をお伺いいたします。 後日、あらためて研究者より直接回答いたします。			

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。